

# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 **3月号**  
笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

## 感謝の気持ちを

柔らかな日差しに春の訪れを感じる季節となってきました。雪や霜柱でコンディションが悪く使用できなかった校庭も全面使用ができるようになり、子供たちも元気に遊ぶことができるようになりました。

今年度の教育活動も16日の卒業式、23日の修了式をもって終えることとなります。2月の授業参観懇談会では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。この1年間の成長をご覧いただくとともに、次年度に向けての有意義な懇談ができました。平成30年度の学校教育に反映させていくよう努力してまいります。

2月14日、今年度のなかよしグループ（縦割り）で、6年生に感謝をする会を行いました。5年生が中心となり準備を進め、1年生から4年生も役割を分担しました。集会や全校遠足でお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えました。がんばっている下級生の姿をやさしい笑顔で見守る6年生を見て、心があたたかくなりました。

“感謝の気持ちをもつと、人はやる気に満ち、落ち込んだ心が癒え、希望がわいてくる”これは、ある心理学者の言葉です。誰かに感謝の気持ちをもつということは、相手から何かしらの恩恵を受けたことを自覚している状態で、受け入れられているという安心感と自己肯定感が高まります。感謝できる相手が多いほど、安心感も自己肯定感も増幅され、前向きな気持ちになれます。そして、受容されている安心感は、周囲への積極的アプローチと利他的な行動へとつながります。結果、人間関係も良好になり、信頼関係も築かれていくこととなります。

“感謝の気持ちをもつことができる”これは、生きるための大切な資質能力のひとつだと思います。他者からの好意を当然と考えて、感謝の思いをもてなければ、自分の周りには誰もいないということになってしまうかもしれません。自分には多くの支えがあることに気づき、豊かな気持ちで生きていけるよう子供たちには感謝の気持ちをもってほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、平成29年度も奈良の丘小学校の教育活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝いたします。4月からの30年度もよろしくお願いたします。

校長 中島 弘喜